

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあふれる時津小



↑こちらからも↑

令和6年 8月27日(火) 発行人：校長 森内 秀学

改めて、平和について考える

去る令和6年8月9日は、長崎に原子爆弾が投下されて79年目となった節目の日。この日は、様々な形で平和について考える1日となりました。

まず、学校では、平和祈念集会を開きました。校長講話では、「戦争を始めさせない」という願いを込めて「さだ まさし」さんが作った、「キーウから遠く離れて」をいう曲をモチーフに、話をしました。いい曲です。ぜひ、聞いてみてください。

次に、総合的な学習で平和について学んだ6年生が各学級に分かれ、発表を行いました(右)。



わたしたちは ちかいます
ともだちと なかよくします
みんなのいのちを たいせつにします
せんそうのかなしさを わすれませ
ん げんぱくのこわさを わすれませ
ん にどと せんそうは しません
おおきなゆめと
きぼうのみにいむかって
ともだちと てをつないで
へいわなみらいを きずいていきます

へいわのちかい

ときつしょうがっこう

その後、全員で声を揃えて読み上げたのは、「へいわのちかい」(左)。読み上げる子どもたちを見ながら、「ほんとだね、頼むよ!」という思いになりました。

夕方18時半からは、時津ウォーターフロント公園にて、町等主催の「平和のつどい」が開かれました。

代表者として参加したのは、下の左から6年生の末永さんと山中さん、そして子ども会代表で5年生の馬場さんです。

緊張した面持ちでしたが、代表者としてあいさつを聞いたり、黙とうや献花、献鶴をしたりすることで、改めて平和の大切さをかみしめていました。

報道で他国の戦況を目にしても、どこかよそ事のような感覚に陥りがちですが、この日は改めて、平和と向き合う良い機会になりました。



ドローンから見た時津小と、その向こう側



物資の輸送など、様々なところで活用されているドローン。時津町でも、区画整理課が土地の状況把握に利用しています。写真は、その時の様子(左)と撮影した映像(右)。

お願いしてご提供いただいた映像を見ると、校舎越しに浦郷や大村湾が見えてくる様子が映っており、感動モノでした。早速、3年生の社会科の学習等で活用していきます。

